遣水（やりみず）、滝石組（たきいしぐみ）

発掘調査で、この遣水が、観自在王院の舞鶴が池に水を落としていたとわかりました。水の流れが水際の大きな石の上を伝い、滝を作ります。

観自在王院庭園の中でも、特にこの滝石組は専門家から高い評価を受けています。観自在王院の庭園は 12 世紀の浄土庭園の貴重な例です。